

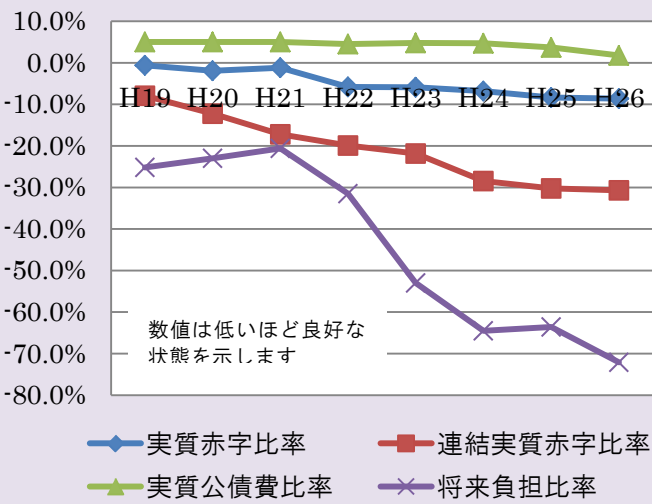
生駒市の財政状況は良好！

生駒市の平成26年度決算における実質収支は約19億円の黒字。財政健全化法に基づく4つの財政指標*も年々数値が良くなっています。

*①実質赤字比率＝一般会計における自治体の財政規模に対する赤字の大きさの割合
②連結実質赤字比率＝全会計における自治体の財政規模に対する赤字の大きさの割合
③実質公債費比率＝自治体の財政規模における借金の返済額の大きさの割合
④将来負担比率＝自治体の財政規模に対する今抱えている借金の大きさの割合

しかし、これらの数値からは、今後膨大するインフラの更新にかかる将来負担も含めた財政状況はわかりません。あるから使え！という考え方ではなく、本当に必要な事業が否か、最少の経費で最大の効果が出る実施方法かを見極め、中長期的な展望を持った財政運営が必要です。

生駒市の健全化判断比率4指標の推移



塩見まきこの東奔西走南船北馬

活動の一部です。詳細は「塩見まきこの活動日記」(ブログ)をご覧ください。



7/19 敦賀港カッターレース
全国の研修仲間の女性議員でチームを結成し出場。大会を盛り上げた功績が認められ(?)福井新聞社特別賞を受賞。



7/23 近畿市民派議員学習交流会
@宝塚市 障がい者福祉、電力入札、財政の3本をテーマとする盛りだくさんの内容。写真は「NPO法人こむの事業所」の施設見学。



7/25-26 市民と議員の条例づくり
交流会 2015 @法政大 地方議員の地方創生への関わりを中心テーマに開催。全国の議会改革の取組の事例報告やワークショップなど。



7/29-31 政策法務研修 @大津市
法務執務の法務執務の基本についての講義のあと、実際にグループワークで立法事実を確認し、課題解決のための条例を作成。



8/1 リニア新幹線学習会
@奈良市 講師は中間駅設置が決まっている甲府市の山田厚議員。リニア新幹線問題を自治体財政面から考えるいい機会になりました。



8/16 リコール学習会
@新城市 市庁舎建替え問題で住民投票が行われた新城市の市民団体からの要請で首長や議会の解職、解散の勉強会の講師を務めました。



8/20 連続自治体特別企画セミナー@京都市
企画総務委員会テーマ別調査で京都府京都政策センターの講座「地方自治体によるオープンデータの活用方法」を受講。



8/20-21 全国自治体政策研究
交流会 自治体学会奈良大会@奈良市 全国から自治体職員を中心に様々なセクターの方々が奈良に集結し、自治のありかたを考える2日間となりました。



8/29 映画上映会@生駒市
コミュニティセンター 辺野古の米軍基地建設反対運動のドキュメンタリー映画「戦場ぬ止み」(三上智恵監督)の映画上映会。(生駒市民フォーラム主催)

サロン しおみ 茶論・de・403

茶論・de・403は、どなたでもご参加いただける生駒市政に関する情報や意見交換の場です。

日時：11月15日(日)
13:30~16:00

場所：北コミュニティセンターISTA はばたき
201 会議室

参加費：無料

- 9月定例会のご報告
- 市政に関すること、なんでもお聞かせください。



秋も深まりました。

9月定例会閉会後も総合計画の後期基本計画の見直しの特別委員会や企画総務委員会の視察等があったため、ニュースレターの編集も細切れに。早くに着手した割には発行がこんな時期になってしまいました。

最近では新聞でもイベント情報以外に取り上げられることのない生駒市政。でも、問題がないわけではありません。行政の意識改革が必要だと思う案件も定例会ごとに出てきます。このニュースレターが皆さまの市政情報収集のお役に立てればと思います、お届けします。

塩見牧子



塩見まきこの議会活動情報はこちらから。

塩見まきこ

検索

生駒市議会議員 塩見まきこ公式サイト shiomimakiko.com/

塩見まきこの活動日記(ブログ) katudo403.exblog.jp/

フェイスブック、ツイッターもやっています。



“まっすぐ、が通る生駒に！”

しおみ
塩見まきこ

市議会ニュースレター

2015 年秋号



発行責任者：塩見牧子 〒630-0213 生駒市東生駒 1-215-402 TEL:0743-75-3403 FAX:0743-74-8518 e-mail:shiomimi753@yahoo.co.jp

買うかどうかもわからないのに土地鑑定？

学研高山第二工区 UR 保有土地

9月定例会に提出された「平成27年度生駒市一般会計補正予算(第2回)」には、北部地域整備促進事業費として「土地鑑定手数料」2,600万円余が計上されていました。これは、昨年3月に独立行政法人都市再生機構(UR)から市に対して学研高山第二工区に同機構が保有する土地160ha(実測面積)の譲渡を持ちかけられたことに伴うものですが、現在、この地は、土地利用についてなんの計画もなく、これから庁内で活用検討会を立ち上げて有益性、影響等を検討し、譲渡可否の方針をまとめるとのことです。

土地利用の予定もないまま土地を取得しても維持管理コストがかかり固定資産税等も入ってこなくなるだけです。(ただし、URには平成20年度から減免中)取得する以上は、実現可能な計画とその必要性、有益性が示されることが不可欠ですが、それらが示されない今、取得を前提とするような鑑定評価を行うことは問題があると考え、塩見は本補正予算案に反対しましたが、賛成多数で可決しました。

*計画白紙、塩漬け状態の第二工区

関西文化学術研究都市は、「関西文化学術研究都市建設促進法」(昭和62年施行)にもとづき閣議決定、承認された「関西文化学術研究都市建設に関する基本方針」「同計画」ののっとり「産・官・学の連携の強化と、文化・学術・研究の国際的・学際的・業際的な交流の推進」を理念に掲げ、けいはんな丘陵に開発が進められました。

生駒市においては平成5年に第一工区の造成工事が完了し、奈良先端科学技術大学院大学のほか研究所が開設され、その後、計画規模を拡大して第二工区ニュータウン開発計画が進められました。

しかし、平成13年に閣議決定された「特殊法人等整理合理化計画」において、URの前身である都市基盤整備公団は、都市の外延的拡大につながるニュータウン開発事業の廃止、採算性に問題があるプロジェクトの見直し、既に取得した土地の処分等を早急に進め、含み損の大幅な圧縮を図るとともに、できる限り多くの継続事業を速やかに終了させることが求められ、平成15年には国土交通省通知「都市基盤整備公団事業の再評価に係る対応方針」によって関西学研都市の木津北、東地区におけるニュータウン開発が中止されました。

生駒市では平成18年に計画の白紙撤回を公約に掲げた山下前市長が当選、平成19年にURが事業の中止を決定。その後、奈良県、UR、生駒市の3者による開発計画見直しプロジェクトチームにおいて大学や研究開発型産業施設等を中心とするまちづくりへの開発計画が検討されましたが、平成22年に奈良県が検討中止を発表し、現在、当該工区にはなんの計画もなく、「塩漬け」土地が広がっています。



学研高山第二工区航空写真(赤枠内)
全288ha、5,022筆中UR保有地は160ha、2,620筆。一般地権者所有土地と「霜降り」状に散在しています。

*保有地処分を急ぐ都市再生機構

URは、「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年閣議決定)を受けて、平成30年度までに土地の供給・処分を完了させることを迫られており、塩漬け不良資産の当該地を「損切り」覚悟で売り急いでいるという事情があります。計画のない今は「値段がつかない」、つまり交渉次第でなんとでもなる状況で、市自ら値を吊り上げていくような愚かしいことはすべきではありません。

●平成27年度生駒市一般会計補正予算(第2回)採決結果

*中谷議長は採決に加わらず。

賛成	白本・福中・桑原・吉村(凛翔絆)吉波・沢田(市民ネット) 下村・恵比須・成田(生駒市議会公明党)山田(維新の党) 井上・中浦・樋口・改正・松本(大樹) 伊木・西山・神山・片山(無会派)
反対	浜田・竹内・久保(日本共産党)、塩見(無会派)

塩見牧子(しおみまきこ) 1965年3月8日大阪生まれ。1972年に生駒に移り住む。生駒東小学校、緑ヶ丘中学校、京都女子高等学校、同大学卒業。同大学大学院文学研究科修了。会社員、学校図書館司書、中・高非常勤講師を経て2007年4月から生駒市議会議員。(現在3期目) 将来世代にツケを残さないサステナブル(持続可能)なまちづくりと、市民の声を政策に転換できる議会の形成を目指しています。